

主題：一主イエスはどのような罪人も招いて弟子としてくださる—
目標：一罪人で病人である自分も、招いて下さる医者、主イエスに癒されることを知る—

2021/6/2
キリスト伝
I ガリラヤ伝道⑤

「マタイの召命」

マタイ9:9～17 p15
ルカ5:27～39、マルコ2:13～22

主イエスの十二弟子の一人、カペナウムの取税人レビ・マタイの召命である。

救い主イエスは見ただけで、その人の本質や性格、心の深い処の飢え渇きや悩みを理解される神である。そして主イエスに従って行くなれば、弟子にして下さるだけでなく、友として下さる。それにより私たちは変えられ、全く違う人生が始まり、未来が開かれていくのである。

取税人のマタイは主イエスに導かれて「マタイの福音書」の記者となった。

ある人は言う。彼は取税人で、その罪の深さをしみじみ感じていたであろう。そこに、思いがけなく主イエスから召しの言葉を頂き感激したと…。

またある人は言う、彼は「マタイの福音書」の最初の系図に4人の婦人の名前を加えているが、それは、^{いさお}功なく救われた感激に動かされたマタイにしか書けなかったことであろうと。

マタイを選ばれた主イエスの先見性による導きは、現代の私たちにも及んでいるのである。

マタイはサッサと仕事を止め、すぐに主イエスを自分の家にお招きした。そこで相当の人数の宴会が始まった。この食事は主イエスに来て頂いたマタイの感謝会であり、今までの仲間とお別れ会であった。取税人や罪人たち(ユダヤ人から見て、律法すれすれの仕事をしていた人々)の中で、ニコニコしながら談笑している主イエスの姿が想像できる。主イエスには、そこに居合わせた一人一人が悔い改めて、主にお従いする姿が見えていたのではないだろうか。

主イエスは「わたしが来たのは正しい人を招くためではなく、罪人を招くためです」(マタイ9:13)と私たち罪人を今日も招いていて下さる。そして主イエスは、マタイだけでなく私たちにも「わたしに従って来なさい！」と御声を掛けて下さるのである。あなたはどのようなのか。

[聖書の学び]

マタイの本名はレビ、主イエスにマタイ(神の賜物)という名を付けていただいた。

I、私たちの医者である主イエス (マタイ9:9～13 p15)

1、主イエスは取税所に座っている、取税人のマタイに目を止められました。

① 主イエスはマタイに何と言いましたか。(マタイ9:9)

② マタイはどうしたのでしょうか。(マタイ9:9)

2、マタイの家に招かれた主イエスに対して、罪人とは絶対に食事をしないパリサイ人たちは、何と言いましたか。(マタイ9:10,11)

3、主イエスが言われた言葉を考えてみましょう。(マタイ9:12～13)

①病気で調子が悪いとき、医者に行けば治ると私たちは思います。

罪人は、心が痛み、このままではいけないと思います → 医者である主イエスに行く

②罪人が悔い改める…主イエスの治療で癒され、神の前に正しい状態になる。(ルカ5:32 p119)

4、取税人マタイは悔い改めて、取税人をやめ、主イエスの弟子になりました。

①マタイは取税人としての地位や将来をなぜ捨てる決心をしたと思いますか。

ピリピ3:7～9 (p398) を開いて読みましょう。…(一切を捨てて主に従ったパウロも心情は同じである。)

②仕事、地位、財産を捨てたマタイですが、彼を養って下さるのはどなたでしょうか。

③マタイが得たものは何でしょうか。その価値はどの位だと思いますか。(ピリピ3:9)

Ⅱ、私たちの花婿である主イエス (マタイ9:14～15)

1、バプテスマのヨハネの弟子たちは、主イエスと弟子たちに何と言いましたか。

2、主イエスは花婿です。花婿が取り去られる日とは、何の日のことでしょうか。

3、主イエスが花嫁である私たちを贖うために、何をして下さったのでしょうか。

Ⅲ、私たちに新しい教えを与えてくださる主イエス (マタイ9:16～17)

1、主イエスは昔からの古いパリサイ人たちの習慣を何に喩えられましたか。

2、新しい十字架の贖いにより、神からの救いによる新しい習慣があたえられました。

それは誰によって、与えられるのでしょうか。(Ⅱコリント5:17 p361)

* **ディスカッション** (心を開いて話し合ってみましょう)

Q. 今日学んだことについて、思うこと、教えられたことを、分かち合いましょう。